

報道関係者各位

2025年6月23日 配信 No.2025-12
立命館アジア太平洋大学 (APU)

次世代の学びをつくる「第2代高校生特命副学長」決定
“ないものは、つくればいい。大学はもっとおもしろくなる。”
～若者の声が大学の未来を動かす～

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山 裕、APU）は、新たな大学ガバナンスの形として、学生・高校生が大学の課題抽出や提言に直接関わる「特命副学長制度」において、第2代高校生特命副学長および特命副学長を支えるサミットメンバーを決定しました。今回選ばれたのは、全国からの応募者の中から選出された高校生特命副学長1名と、サミットメンバー4名の計5名。2025年6月から2026年3月にかけて、「学びの未来を考える」をテーマに活動を行います。

本制度は、2024年にスタートしたばかりの新制度で、今年で2年目です。選考は公募制で行われ、2025年2月3日～4月14日の期間でエントリーを受け付けました。全国から約50名が応募し、一次選考（書類+プレゼン動画）と、APU役員による最終選考（オンライン面談）を経て、個性と意欲あふれるメンバーが選ばれました。任命期間は2025年6月1日から2026年3月31日です。

【2025年度 高校生特命副学長とサミットメンバー】



【今後の高校生特命副学長・サミットメンバー活動予定】

- 6月 対面キックオフ（1泊2日）
- 7月 オープンキャンパス参加（在校生副学長との交流）
- 8月 エコキャンプ（集中合宿・チームビルディング）
- 11月 中間発表会（テーマ決めワークショップ）
- 11～12月 提案内容ブラッシュアップ期間
- 1～2月 提案内容まとめ期間
- 3月 最終発表会

※活動予定は、追加または変更になる可能性があります。

それぞれのプロフィール・所信表明は2ページ目をご参照ください。



高校生副学長

本多 未侑 (ほんだ みう)

佐賀県立致遠館高等学校 2年生

学び、試し、反省し、再び学ぶーこれは私の理想とする学びのサイクルです。大学教育の在り方が問われる今、大学が担うべき役割は、再び学び直す場を提供すること、そして大学自体が学びのサイクルを実践できる場であってほしい、これが私の切なる思いです。この理想を実現すべく、私は高校生特命副学長として、ある時は高校生らしい視点から、またある時は「高校生」という枠を超えて、前向きな変革を促します。



サミットメンバー

辻岡 千宙 (つじおか ちひろ)

栃木県立矢板東高等学校 2年生

私は「10億人の笑顔を集める」という強い想いを胸に、この活動に全力で参加します。自分の視点や感じたことを素直に発信し、多様な意見に耳を傾けながら大きく成長したいです。この貴重な経験を通じて、多くの人と出会い刺激を受け、さらに視野を広げていきたいと思います。誰かの笑顔のきっかけになる意見や行動を生み出すために、失敗を恐れず、常に前向きに挑戦し続け、日々努力を重ねていきます！



サミットメンバー

黒田 藍美 (くろだ あいみ)

長崎県立佐世保高等学校 1年生

高校生が大学の副学長？大学の学びに革新を起こす！なんて「イレギュラー」なんだ！！と思いました。目まぐるしい世界の問題に対し、私は常に考え行動し、新たな価値を創造する人でありたいです。サミットメンバーとして、大学の新たな可能性を提案し、メンバーたちとの対話を重ね、新たな価値観を再構築していきます。常識にとらわれず、イレギュラーな存在として、自分自身と世界の未来を切り拓いていきます。



サミットメンバー

小松 瑞希 (こまつ みずき)

中央大学附属高等学校 2年生

はじめまして！サミットメンバーとして活動させていただくことになりました、小松瑞季です。今回、APUという大きな場所で挑戦させていただけることが、とても嬉しいし楽しみです！得意な「アイデアを出すこと」を活かして、高校生の私たちだからこそ思いつくことを、たくさん提案したいと思っています。大学が、夢や目標を形にできる、もっとわくわくする場所になるよう頑張ります。よろしくお祈りします！



サミットメンバー

田中 優大 (たなか ゆうだい)

兵庫県 2年生

初めまして！高校生サミットメンバーに任命されました、田中優大です。現在神戸市の私立高校に通っています。

今後、教育についてメンバーでさまざまな議論をし、行動に移すことで、APUだけでなく日本中の教育を今より良いものにしたいです。日本の枠を越え、世界でも繋がりを持てたらさらに良いと思っています。

1年間よろしくお祈りします！